

令和7年

第3回市議会定例会 議案第5号

令和7(2025)年度函館市公共下水道事業会計補正予算(第2号)

第1条 令和7(2025)年度函館市公共下水道事業会計補正予算(第2号)は、次に定めるところによる。

第2条 令和7(2025)年度函館市公共下水道事業会計予算第3条に定めた収益的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

(科目)	(既決予定額)	(補正予定額)	(計)
	収	入	
第1款 下水道事業収益	7,999,101千円	3千円	7,999,104千円
第1項 営業収益	5,619,923千円	3千円	5,619,926千円
	支	出	
第1款 下水道事業費用	6,907,541千円	46千円	6,907,587千円
第1項 営業費用	6,396,873千円	7千円	6,396,880千円
第2項 営業外費用	502,667千円	△ 5千円	502,662千円
第3項 特別損失	1千円	44千円	45千円

令和7年9月1日提出

函館市長 大 泉 潤

令和7年度函館市公共下水道事業会計予算実施計画

収益的収入及び支出

収入

款	項	目	予 定 額			備 考
			既 決 額	補 正 額	計	
1 下水道事業収益			7,999,101 ^{千円}	3 ^{千円}	7,999,104 ^{千円}	
	1 営業収益		5,619,923	3	5,619,926	
		2 他会計負担金	1,129,154	3	1,129,157	一般会計負担金「1,129,154千円」を「1,129,157千円」に改める。

支出

款	項	目	予 定 額			備 考
			既 決 額	補 正 額	計	
1 下水道事業費用			6,907,541 ^{千円}	46 ^{千円}	6,907,587 ^{千円}	
	1 営業費用		6,396,873	7	6,396,880	
		1 管 渠 費	342,616	7	342,623	手数料を補正
	2 営業外費用		502,667	△ 5	502,662	
		2 消費税及び地方消費税	119,174	△ 5	119,169	納付税額を補正
	3 特別損失		1	44	45	
		1 過年度損益修正損	1	44	45	過年度損益修正損を補正

令和7年度函館市公共下水道事業会計予定キャッシュ・フロー計算書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

(単位：千円)

1 業務活動によるキャッシュ・フロー

当年度純利益	987,236
減価償却費	3,585,645
固定資産除却費	43,379
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,538
退職給付引当金の増減額(△は減少)	39,039
賞与引当金の増減額(△は減少)	135
法定福利費引当金の増減額(△は減少)	21
長期前受金戻入額	△ 2,352,313
受取利息及び配当金	△ 100
支払利息	381,676
過年度損益修正損	45
小計	<u>2,687,301</u>
利息及び配当金の受取額	100
利息の支払額	△ 381,676
過年度損益修正損	△ 45
未払消費税等の増減額	<u>128,330</u>

業務活動によるキャッシュ・フロー 2,434,010

2 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出	△ 1,981,672
有形固定資産の売却による収入	10,400
無形固定資産の取得による支出	△ 115,602
長期貸付金の貸付による支出	△ 9,800
短期貸付金の返還による収入	7,537
国庫補助金等による収入	429,300
一般会計又は他の特別会計からの繰入金による収入	1,242,783
その他収入	40,029

投資活動によるキャッシュ・フロー △ 377,025

3 財務活動によるキャッシュ・フロー

建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	1,690,600
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 3,744,417
その他の企業債による収入	20,500

財務活動によるキャッシュ・フロー △ 2,033,317

資金増加額(又は減少額) 23,668

資金期首残高 2,939,059

資金期末残高 2,962,727

令和7年度函館市公共下水道事業会計予定貸借対照表（当年度分）

（令和8年3月31日）

資 産 の 部

1 固 定 資 産

(1) 有形固定資産	185,362,023	千円
減価償却累計額	<u>△ 99,117,467</u>	千円
(2) 無形固定資産		1,824,437
(3) 投資その他の資産		
イ 出 資 金	9,927	
ロ 長期貸付金	<u>4,690</u>	
投資その他の資産合計		<u>14,617</u>
固定資産合計		千円 88,083,610

2 流 動 資 産

(1) 現金預金		2,962,727
(2) 未 収 金	429,728	
貸倒引当金	<u>△ 15,913</u>	413,815
(3) 短期貸付金	4,764	
貸倒引当金	<u>△ 83</u>	4,681
(4) 他会計保管下水道使用料		<u>18,182</u>

流動資産合計		千円 <u>3,399,405</u>
資産合計		<u>91,483,015</u>
負債の部		
3 固定負債		
(1) 企業債		
イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	千円 35,272,265	
ロ その他の企業債	<u>20,500</u>	
企業債合計		千円 35,292,765
(2) 引当金		
イ 退職給付引当金	<u>433,189</u>	
引当金合計		<u>433,189</u>
固定負債合計		35,725,954
4 流動負債		
(1) 企業債		3,503,877
(2) 未払金		1,385,220
(3) 引当金		
イ 賞与引当金	24,165	
ロ 法定福利費引当金	<u>4,997</u>	
引当金合計		29,162

千円

(4) その他流動負債 2,231

流動負債合計

千円
4,920,490

5 繰延収益

長期前受金

92,850,754

収益化累計額

△ 57,506,390

繰延収益合計

35,344,364

負債合計

75,990,808

資 本 の 部

6 資本金

11,228,933

7 剰余金

(1) 資本金剰余金

1,288,651

(2) 利益剰余金

イ 当年度未処分利益剰余金

千円
2,974,623

利益剰余金合計

2,974,623

剰余金合計

4,263,274

資本合計

15,492,207

負債資本合計

91,483,015

個 別 注 記 表

I 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

減価償却の方法	定額法によっている。	
主な耐用年数	建物	8～50年
	構築物	7～50年
	機械及び装置	6～20年

(2) 無形固定資産

減価償却の方法	定額法によっている。	
主な耐用年数	地上権	5年
	施設利用権	17～35年

2 引当金の計上方法

(1) 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。

(2) 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当年度における退職手当の期末要支給額に相当する金額を計上している（なお、一般会計が負担すると見込まれる額111,703千円を除く）。

(3) 賞与引当金および法定福利費引当金

職員の期末・勤勉手当の支給およびこれに係る法定福利費の支出に備えるため、当年度末における支給（支出）見込額に基づき、当年度の負担に属する額（12月から3月までの4か月分）を計上している（なお、一般会計が負担すると見込まれる額7,677千円を除く）。

3 その他会計に関する書類の作成のための基本となる重要な事項

(1) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜き方式によっている。

II 予定貸借対照表（当年度分）に関する注記

1 企業債の償還に係る他会計の負担

予定貸借対照表に計上されている企業債（当該事業年度の末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む）のうち、一般会計が負担すると見込まれる額は、18,625,218千円である。

Ⅲ セグメント情報に関する注記

1 報告セグメントの概要

公共下水道事業会計は、公共下水道事業および特定環境保全公共下水道事業を運営しており、各事業で運営方針等を決定していることから、この2つを報告セグメントとしている。

なお、各報告セグメントに属する事業の内容は以下のとおりである。

事業区分	事業の内容
公共下水道事業	特定環境保全公共下水道事業以外の排水区域において下水を排除または処理する業務
特定環境保全公共下水道事業	戸井地域の排水区域において下水を処理する業務

2 報告セグメントごとの営業収益等

令和7年度（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）

（単位：千円）

	公共下水道事業	特定環境保全 公共下水道事業	合計
営業収益	5,169,886	41,788	5,211,674
営業費用	6,093,888	97,675	6,191,563
営業損益	△ 924,002	△ 55,887	△ 979,889
経常損益	993,176	△ 5,899	987,277
セグメント資産	88,960,286	2,522,729	91,483,015
セグメント負債	73,553,766	2,437,042	75,990,808
その他の項目			
他会計繰入金 （収益的収入）	1,109,758	19,399	1,129,157
減価償却費	3,503,627	82,018	3,585,645
特別損失	41		41
有形固定資産および 無形固定資産の増加額	△ 1,636,215	△ 77,187	△ 1,713,402

IV リース契約により使用する固定資産に関する注記

1 リース会計に係る特例措置

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

2 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係る未経過リース料相当額

1年以内 7,164千円

1年超 15,505千円

合計 22,669千円

V その他の注記

1 貸倒引当金の目的使用による取崩しについて

当年度において、債権の不納欠損による損失2,616千円を処理するため、貸倒引当金2,616千円を使用する。

2 退職給付引当金の目的使用による取崩しについて

当年度において、退職手当として15,721千円を支給するため、退職給付引当金12,498千円（一般会計が負担すると見込まれる額を除く）を使用する。

3 賞与引当金および法定福利費引当金の目的使用による取崩しについて

当年度において、期末・勤勉手当の支給およびこれに係る法定福利費の支出のうち、前年度の負担に属する額（12月から3月までの4か月分）として36,455千円を支給（支出）するため、賞与引当金および法定福利費引当金28,904千円（一般会計が負担すると見込まれる額を除く）を使用する。